

向こう 1 か月の天候の見通し

近畿地方（5 月 18 日～6 月 17 日）

大阪管区气象台

予報のポイント

- 暖かい空気に覆われやすいため、向こう 1 か月の平均気温は高いでしょう。特に、期間のはじめは、かなり高くなる見込みです。

1 か月の平均気温・降水量・日照時間

		平均気温（1 か月）	降水量（1 か月）	日照時間（1 か月）
近畿	日本海側	低 10 並 30 高 60% 高い見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み


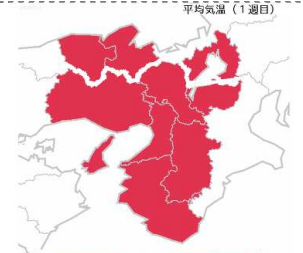
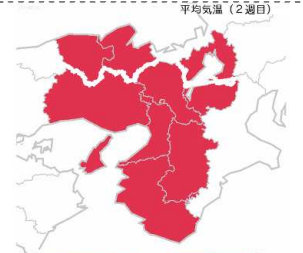
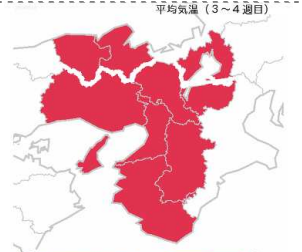
週別の天候

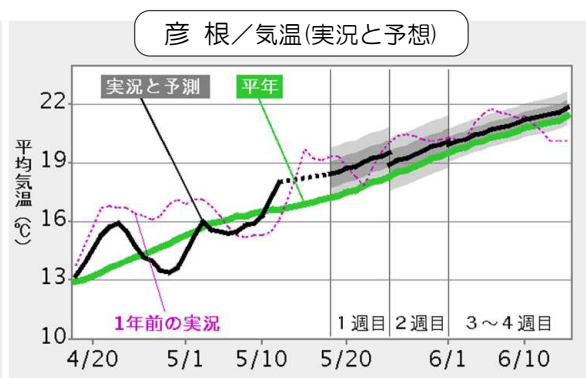
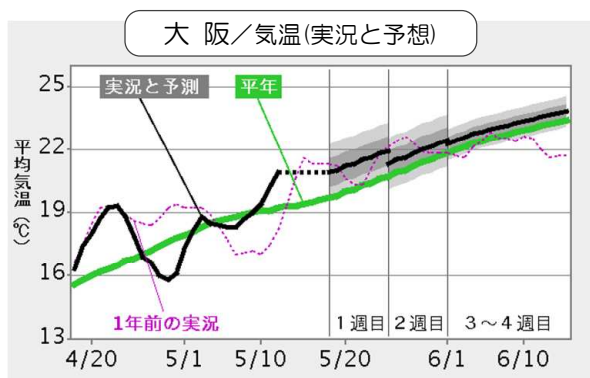
(1 週目) 5/18～24	(2 週目) 5/25～31	(3～4 週目) 6/1～14
気圧の谷や湿った空気の影響で雲が広がりやすく、雨の日がある見込みです。	天気は数日の周期で変わる見込みです。	平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。

明日から 1 週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報 (<https://www.jma.go.jp/jp/week/>) を参照してください。


季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

週別の平均気温

	平均気温（1 週目） 5/18~24	平均気温（2 週目） 5/25~31	平均気温（3~4 週目） 6/1~14
近畿地方	低 10 並 20 高 70% 高い見込み	低 20 並 30 高 50% 高い見込み	低 20 並 30 高 50% 高い見込み
 数値は予想される 出現確率です	 平均気温（1週目）	 平均気温（2週目）	 平均気温（3~4週目）
	低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%) <small>以上 平年並み 40 以上</small>	低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%) <small>以上 平年並み 40 以上</small>	低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%) <small>以上 平年並み 40 以上</small>



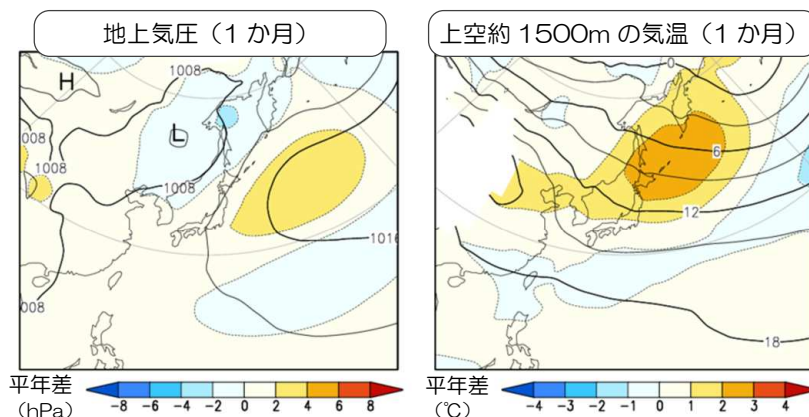
ほかの地点の気温（実況と予想）グラフは、
 気象庁ホームページ
<https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/longfcst/tjikeiretu/index.php>
 で公開しています。


 予想の気温は、週別の平均的な気温の見込みを黒い太線で表しています。信頼の程度が40%の幅を濃い網掛けで、70%の幅を薄い網掛けで示しています。今年、昨年の実況は7日平均気温です。

数値予報モデルによる予測結果

1 か月平均の地上気圧（左図）は、日本の東海上は平年より高い一方、中国東北区付近を中心に平年より低いと予想されており、北～西日本は南よりの風が吹きやすいことが予想されます。沖縄・奄美付近は、平年より高いと予想され、前線の影響を受けにくい見込みです。

上空約 1500m の気温（右図）は、全国的に平年より高いと予想されています。

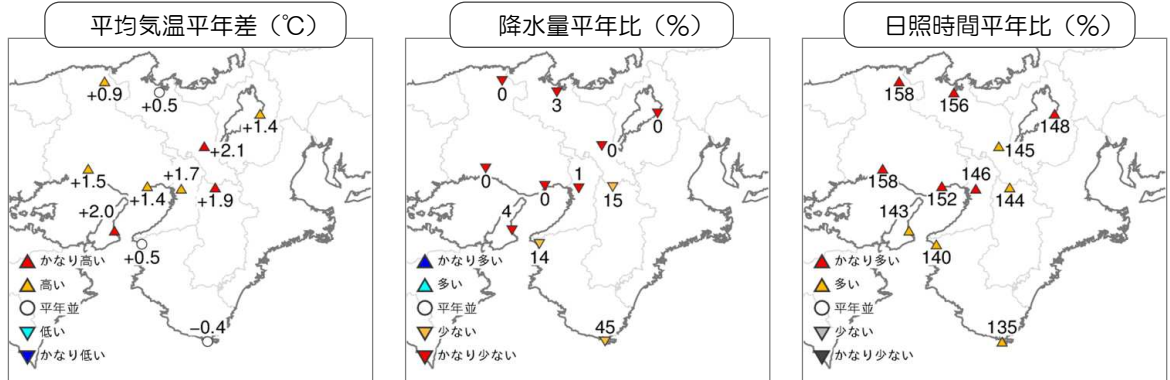


季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のパラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

最近 1 週間の天候経過（実況） 5/9~15

移動性高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、14日は湿った空気の影響で、曇りや雨となりました。

また、1 週間の平均気温は平年に比べ高くなりました。降水量は平年に比べかなり少なく、日照時間は平年に比べかなり多くなりました。



(実況) 5/9~15		平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
近畿	日本海側	+1.2°C (高い)	1% (かなり少ない)	154% (かなり多い)
	太平洋側		10% (かなり少ない)	145% (かなり多い)

参考データ

● 平年並の範囲

	平均気温 (1 か月)	平均気温 (1 週目)	平均気温 (2 週目)	平均気温 (3-4 週目)
近畿地方	平年差: -0.2~+0.3°C	平年差: -0.5~+0.4°C	平年差: -0.4~+0.6°C	平年差: -0.3~+0.4°C
彦根	19.1~19.7°C	17.1~18.2°C	18.3~19.4°C	20.2~20.8°C
大阪	21.4~22.0°C	19.7~20.7°C	20.8~21.9°C	22.3~23.1°C

	降水量 (1 か月)	日照時間 (1 か月)
近畿日本海側	平年比: 72~114%	平年比: 93~109%
近畿太平洋側	平年比: 76~105%	平年比: 96~108%
彦根	81.5~128.9mm	161.9~188.7 時間
大阪	82.7~129.6mm	164.5~186.9 時間

「平年並」の範囲は、同時期の過去 30 年間（1981-2010 年）の値から統計的に求めています。30 年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30 年間の 30 個のデータのうち、値が高い（多い）方から 11~20 番目となる 10 個のデータの値の範囲を、おおよそ「平年並」の範囲としています。また、実況の分布図にある「かなり高い（多い）」などは、高い（多い）方から 3 番目までの値に相当します。

● 晴れ日数と降水日数の平年値

	1 か月		1 週目		2 週目		3~4 週目	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
彦根	156 日	86 日	3.9 日	2.3 日	4.1 日	2.0 日	7.6 日	4.3 日
大阪	15.7 日	8.1 日	4.0 日	2.2 日	4.1 日	1.8 日	7.5 日	4.1 日

「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の 40% 以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量 1 mm 以上」の日数です。この 2 つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

● 確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率 (低い (少ない): 平年並: 高い (多い))	解 説
高い (多い) 確率が 50% 以上 (20: 40: 40)	高い (多い) 見込み 平年並が高い (多い) 見込み
平年並の確率が 50% 以上 (40: 30: 30) (30: 40: 30) (30: 30: 40)	平年並の見込み ほぼ平年並の見込み
(40: 40: 20)	平年並が低い (少ない) 見込み
低い (少ない) 確率が 50% 以上	低い (少ない) 見込み